

議会 だより



6月第2回定例会 平成27年度補正予算等を審議

補正予算・人事案件を可決

一般質問に6名の議員が登壇

傍聴席も多数の住民の方々に満席に



平成27年 第2回定例会開催 補正予算 人事案件を審議

平成27年第2回定例会が、6月18日・19日の2日間開催され、平成27年度補正予算を主に、人事案件等が上程されました。2日目は一般質問が行われ、6人の議員が質問に立ちました。

定例会初日の審議状況

定例会初日、平成二十七年補正予算並びに教育委員会委員の任命同意等の審議が行われ、全て可決されました。



質疑に対し答弁を行う西川町長

初日に審議された議案

- 平成二十七年補正予算
一般会計補正予算
- 平成二十七年補正予算
国民健康保険事業特別会計補正予算
- 平成二十七年補正予算
後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 平成二十七年補正予算
簡易水道事業特別会計補正予算
- 平成二十七年補正予算
介護保険事業特別会計補正予算

予算

- 平成二十七年補正予算
恒久対策事業特別会計補正予算
- 津奈木町議会会議規則の一部改正

教育委員会委員に 雑賀優実氏を同意

教育委員会委員の田上智昭氏が任期満了により退任されたことに伴い、新たに雑賀優実氏が全会一致で任命同意されました。

主な補正予算

審議の概要

○平成二十七年補正予算に町一般会計補正予算についての質疑応答

質疑（村上義廣議員）

問 保育園費の工事請負費、駐車場整備工事、土地購入費の内容は。

答 現在、保育園には八台分の駐車場がなく、職員も路上駐車をしている状況であるため、保育園隣の田んぼ九百二十六㎡を購入予定である。八百五十㎡が駐車場に残りを交流農園にしたいと思っている。整備後は、三十四台分の駐車スペースが出来る予定である。

質疑（川野雄一議員）

問 企画費に予約型乗合タクシー運行費として報酬

百七十二万一千円、委託料三百十四万七千円が増額され、負担金補助二百二十五万円減額の理由は。

答 報酬の増額は、事務員二名を町で直接雇用にしたため、委託料については、当初概算で試算していたのを、先進地等の積算資料により試算した結果一日当たりの経費一万三千七百円が二万一千五百円となったため、負担金補助の減額は、事務員二名を町で直接雇用としたためである。

問 十月一日運行開始に向けて運賃、停留所、運行時間等は決定したのか。

答 運賃は、町内一律三〇〇円、水保等の特定施設（病院）八〇〇円、停留所は一〇〇箇所程度、運行時間は一日八便で午前七時から午後六時を予定している。

問 観光費に観光施設

6月定例会

案内看板改修施設委託料
百四十万九千円、サイン用地
賃貸料二万円の補正理由は、

答 委託料は、西回り自動
車道津奈木IC開通に向け
て町内十三箇所を設置して
ある観光案内看板をリニュー
アルする為の設計を委託する
ものである。用地賃貸料は、
撤去予定の案内板の用地交
渉が進展しないため。

質疑（柳迫好則議員）

問 地域振興費に、一般
コミュニティ助成事業補助
金二百五十万、長寿社会
づくりソフト事業補助金
百二十七万円の補正内容は、

答 一般コミュニ
ティ助成事業
は、宝くじの助成
金で中尾地区公民
館の備品及びイベ
ント用品等の購入
事業に充てる。長
寿社会づくりソ
フト事業は、地

域医療等振興自治宝くじの
助成金で、浜崎地区の高齡
者を中心としたパソコン教
室を年間二十四回開催する。

問 体育施設費に総合
グラウンド暗渠排水工事費
千二百八十六万九千円が計
上されているがその工事内
容は。

答 総合グラウンドの暗渠
排水工事はトラックフィール
ド部分については施工済であ
るが、今回は水はけの特に
悪いB&G体育館側のCとD
コート部分を施工する。

質疑（久村昌司議員）
問 財政調整基金積立金等
の内訳は。

答 定期貯金の利息が低
いため、二十年の大阪市
債を一億円購入し、年利
一・三三％で利息百十三万
円を予定している。減債基
金については二十年の国債を
二億円購入し、年利一・二％
で利息二百四十万円、社会
福祉振興基金積立金は二十
年の千葉県債を一億円購入
し、年利一・三三％で利息
百十三万円を予定している。



浜崎地区で行われているパソコン教室

補正予算の主な事業（一般会計）

一般コミュニティ助成事業補助金（中尾地区）	2,500千円
長寿社会づくりソフト事業費補助金（浜崎地区）	1,270千円
津奈木保育園駐車場整備工事	8,158千円
観光施設案内看板改修設計委託	1,409千円
平国小学校閉校記念事業補助金	1,000千円
総合グラウンド暗渠排水工事	12,869千円

議 会 を 傍 聴 し て

今回の議会にはたくさんの方々が傍聴に来られ、熱気あふれる議会開催となりました。傍聴された方々のご感想を伺いました。

◎今回、議員定数が削減されると同時に議員も大幅に若返ったということで、議会を傍聴に行きました。先輩の議員はともかく、新人議員もまだ日が浅いのによく勉強しておられるなど頼もしくなりました。議場は立ち見が出るほど傍聴者の方であふれていましたので、これからも町民の皆さんが傍聴に行きたくなる魅力ある議会にして下さい。

(六十代・男性)

◎今回、JA女性部で町議会を傍聴しました。

議会も若返り、期待と少々不安を持って出かけましたが、新人議員さんたちも自分の意見を堂々と述べられ大変好感が持てました。女性議員も二名となり大歓迎です。

厳しい財源の中、課題は山積していますが、固定観念に捉われず発想の転換を図り、超党派で住みたくない町づくりに邁進して欲しいものです。

(六十代・女性)

◎議会の追認だけなら意味がないと、地方議会無用論がある。定数削減の流れに身を置く議員の技量が問われている。議会の活性化には傍聴者の存在が欠かせない、それも多くの。議会が行政のチェック機能なら、傍聴者は議員のそれである。議会事務局も事前に質問者の氏名と内容を有線で流す等、傍聴を促す取り組みを講じて欲しい。

(六十代・男性)

◎今まで町報・議会だよりは観ていましたが、今回初めて傍聴に行き議員任せで関心がなかったかを気付かされました。

住民が関心を持つことで、議員さんの意識向上につながるのではないのでしょうか。

議会の傍聴を堅苦しく思っていました、生の声



たくさんの方々が傍聴に来られました

を聴くことで私達も住民の一員であることを改めて認識させられました。年間を通じて傍聴したいと思います。多くの住民に関心を持つてもらい、みんなで津奈木町を良くしたいと思います。

(七十代・女性)

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会は、3月、6月、9月、12月に定例会が開催されます。開会の日程は、議会だよりやホームページでお知らせします。

傍聴の手続きは簡単で、傍聴当日に議場傍聴席入口の受付簿に名前等を記入して頂くだけです。今月の定例会は、9月14日(月)からの予定です。

■問い合わせ/議会事務局 0966-78-5351

大泊漁港の防波堤局部改良 事業の進捗状況は



柳迫好則議員

問 大泊漁港防波堤局部改修工事について、進捗状況はどのようになっているのか。

答 平成二十四年度に防波堤の緊急的にやるべきところの補修を実施している。

平成二十三年に県と協議をし、大泊漁港の漁船が五十隻以上ないといと難しく、不足の場合には、町管理の三漁港を統合して県に届ければ実施可能との事であった。本年度県と再協議をし、概ね五十隻以上で良いということになり、大泊漁港のみで実施できるようになった。現在、水産物供給基盤機能保全事業の補助事業に基づき、平成二十九年までに計画の策定を順次行っていくきたい。

答 大泊漁港については、二十二年前に調査費として二千万円の予算がついていたが、隣接漁港との同意ができず予算返上した経緯がある。

当時、水産庁のほうに、説明に上がったが、その時水産庁は百二十％できる事業じゃないと持ってくるなと大変叱られた。従って、福浦漁港消波、大泊漁港となるが、福浦漁港が支持基盤の固い層が急激に下がっており、当初より倍近い予算が必要となった。

国からの補助金は二分の一しかないで、残り二分の一は自主財源となる。財政的な問題があり、平成三十年までに水産庁の補助事業で出来るように努力したい。



改良が待たれる大泊漁港

赤崎水曜日郵便局を今後 どのように活用するのか



澤井静代議員

問 赤崎水曜日郵便局は、平成二十七年までの事業であるが、地域創生元年でもあり、継続事業として取り組むことはできないのか。

答 現在は、手書きで思いを書くというのが非常に少なくなっている中で貴重な企画でもあり、津奈木・赤崎という地名等々を知っていたただには有効な事業である。継続するには有効な事業である。継続するにあたっては、財源とスタッフの問題があるが、前向きに継続の方向で考えたいと思う。

問 食物アレルギー対策で、第九期津奈木町振興計画の学校給食について、食物アレルギー対策のための調理設備と記されているが、受け入れ態勢が整うと認識しているのか。

また、その目標時期はいつなのか。

答 現時点では、全てのアレルギー段階の子どもさんに対応できる施設の整備については明言できない。



多くの手紙が送られた赤崎水曜日郵便局

ない。
給食センターでは、食物アレルギー対応実施基準を作成し、対応している。アレルギーの診断書に基づき、一番適切な対応を、保護者と学校、及び教育委員会や給食センターの栄養教諭で直接面談を行い、連絡をとりながら、除去食や、献立自体が成り立たなくなる場合は、別のメニューを提供している。事前に保護者と学校給食の提供の仕方について協議を行い、できる限りの対応をしている。

津奈木町消防団の組織は どのようなになっているのか



上村勝法議員

問 津奈木町消防団の組織及び運営に関する規則によると、本部は団長一名、副団長三名となっているが、現在は副団長は二名となっているのは何故か。また、本部はどのように選任されているのか。

答 副団長は、平成十六年四月に一名、女性分団に割り振られ増員している。七年間務められ、平成二十年三月に退団後空席であるが、規則に反するものではない。団の運営に支障をきたすのであれば適任者を任命可能である。本部の選任だが、団長は各分団長からの推薦で町長が任命し、副団長は町長の承認で団長が任命している。

問 町の人口が減るにつれ団員の確保に苦慮していると思うが、退団者で編成する組織をつくる考えはないのか。

答 できる限り長く団員で頑張ってもらいたい、OB団員の再任用については、新たな制度を検討する考えがある。



4月に行われた消防点検の様子

問 本年度事業に挙げている、旧赤崎小学校校舎跡地利活用構想業務委託についての進捗状況はどうなっているのか。

答 この事業は、水俣・芦北地域創造事業補助金を利用し、国八割、県一割補助を使って地域住民が利用しやすく、多数の人が訪れたいくなるような利活用を検討している。今後専門家を入れて、地域住民関係者とワークショップ形式で提案内容や意見を聞き、策定したいと考えている。

また、国庫補助事業のため、国県の交付決定次第発注し、今年度中の策定を計画している。

農漁業の体験研修センター の建設計画はないのか



橋口知恵子議員

問 西回り自動車道の開通が迫っている。一度きりの記念事業としてのイベント（サイクリング・ロードレース・ウォーキング）を行うべきだと思うが、何か考えているのか。

答 高速道路は開通すれば歩いて通ることができない。開通する前に、例えば津奈木トンネルを通り湯浦までを往復するとか、十分検討していきたい。

問 総合計画及び「まち・ひと・しごと創生法」との関連では、農漁業振興について具体的な計画があるのか。

高齢化で後継者がいない問題を解決するために、後継者の育成と支援強化を行う目的の農漁業体験研修センターを建設できないか。

答 総合戦略については、現在取りまとめを行っている。住民からのアンケート、外部有識者からの提案も受けた。職員からは約八十件の提案があり、農・林・

漁業関係からは農業就業者の確保部分九件が提案されている。
農漁業体験研修センターについては、独自で作ることはなかなか難しい。農漁業の研修は、国の制度を利用することで対応できると考える。

問 小津奈木の白ヶ浦地区の冠水対策は怎么样了のか。町で行えないのか。

答 計画されていた水路の新設ルートは難しく、別ルートを国土交通省に依頼している。中山間地域総合整備事業の道路整備計画は削除された。町としては、一番低い潮溜まりの所の道路百数十メートルを、ある程度冠水しても車が行ける状況まで上げたいと考えている。

その他の質問

◎高校3年生までの医療費無料化について

行政改革の経過内容と

予算の審議方法は



本山真吾議員

問 現在のグループ制へと組織改革に取り組んできたがメリット・デメリットはどう思うか。

答 グループ制のメリットは、少ない職員で機能する自治体を構築することである。国の権限移譲が進む中、十年前と二十%以上業務は増加している。

デメリットは、指揮命令、責任の所在が分からないと思われていたが、現在はそれぞれ担当が存在し、各班長以外四名程度で構成されており、組織的にも理想的な形となっている。現在の職員数は平成二十三年四月改正後、定数八十七名から七十五名に減数されており実際の職員数は六十六名となっている。

問 二千四十年には全国の市町村が消滅の危機に瀕すると言われている。もろもろの諸問題、業務の円滑を図るため職員数を増やすことはできないか。

答 市町村合併しないで単独でやっていくためには、削れるところ

ろは削らなければいけない。事務量は今後ますます増加する中で、グループ制は職員自らが採用した。権限移譲によって事務量が多くなつた中、職員は頑張っている。能力を向上させるため研修などには積極的に出している。特に社会福祉分野については、嘱託員の方を雇っている。時代に応じて人数を増やしたり、あるいは班を一つ設けたりすることはあり得る。

問 各課の担当課から上がっている事案はどのような経緯を経て予算化されるのか。

答 予算編成は、津奈木町振興計画による町の方針、国の施策、住民からの要望、災害復旧の四つに大体分かれる。各課で予算を計上し、総務課企画財政班によって費用対効果などを加味し査定をする。要望通り予算化できればよいが、なかなか百%というのはできないというのが現状である。

小中学校の部活などに スクールバスの活用を



久村昌司議員

問 小中学校で部活の練習試合など盛んに行われており、又、良い成績を残す部活もある。最近では親が共働きの家庭も多く、練習試合などの配車に苦労されている状況である。子ども・子育て支援の一環として、試合などのスクールバスを運行出来ないか。

答 現在スクールバスは教育課程に組み込まれた町外での学習発表会スポーツ大会等臨時運行を行っている。あくまで学習活動の一環として運行しているものであり、休日等の部活動による対外遠征試合は任意の自発的活動であると思われるため、保護者の管理と責任のもとで行うのが適切ではないかと考えている。まずは通学の便に供するのが一番の目的であり、外での運行は考えていない。

問 三月の定例会で定住関係の質問を行ったが、その後の進捗状況を伺いたい。

問 空家等対策の推進に関する特別措置法ができ、市町村は空家等の調査を行い、現状を把握し写真など搭載した形でデータベース化を図り、調査が完了した上で対策を考えていきたい。

答 定住促進の補助金の復活はどうなるのか。

問 あくまでも空家のリフォームに出そうと思っている補助金であり、政策的に新築の家にも出そうと思っていない。又、リフォームの場合所有者は町内で借りる人は町外からの人であるので、街でお金が回るから考えても良いと思っている。最近の新築を見かけるが町外のハウスメーカーがほとんどで、経済的に全部町外に持って行かれてしまう。

税金とは、大体公共のために使うものであり原則個人向けには出してはいけない事になっているためあれもこれもという事は出来ない。

全員協議会・各委員会の活動状況を報告します

各委員会

総務振興常任委員会調査研究

四季彩駐車場の今後の活用を検討するため、JA加工場等の現場視察を行いました。



教育住民常任委員会調査研究

赤崎地区で行われた「いってみゆう会」を視察しました。参加されていた皆さんは、笑顔でとても楽しそうでした。



全員協議会

平成27年度事業説明会

執行部より、平成27年度の主な事業について説明を受けました。

- ・福浦漁港防波堤整備事業
- ・温泉センターリニューアル事業
- ・プレミアム付商品券発行事業
- ・光ブロードバンド基盤整備事業



第六次水俣・芦北地域振興計画説明会

平成28年度からの第六次水俣・芦北地域振興計画について、熊本県地域振興課及び芦北地域振興局との意見交換を行いました。



議会のうごき

【6月】

- 18日 第2回津奈木町議会定例会
- 19日 第2回津奈木町議会定例会一般質問

【7月】

- 9日 総務振興常任委員会
- 15日 教育住民常任委員会
- 29日～30日 水俣芦北地域振興計画に関する要望活動

【8月】

- 4日 正副議長研修会
- 6日 総務振興常任委員会
- 19日 教育住民常任委員会

【9月予定】

- 7日 議会運営委員会
- 14日 第3回津奈木町議会定例会開会
- 17日 第3回津奈木町議会定例会一般質問
- 30日 第3回津奈木町議会定例会閉会

議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	川野 雄一
委員	久村 昌司
〃	澤井 静代
〃	上村 勝法

表紙の写真

八月七日早朝、平国小学校で、くまモン体操をみんなで踊りました。
平国小児童のほか、地区住民や町内からも多数の皆さんが参加され、くまモンも張り切って踊っていました。

議会だよりの編集に当たっては、議会の動きが皆さんに伝わるような広報紙にしたいと思っておりますので、皆さんの御意見をお聞かせ下さい。

Y・K

編集後記

四月二十六日の町議会議員選挙により、新人三人が当選して、議会の若返りが図られ新鮮な空気が議場に漂っている中、六月定例会の一般質問に、六名の議員が登壇しました。傍聴席には三十名以上の住民の方々が訪れて、議場は大変な熱気に包まれました。

開かれた議会を目指している者として心強く思い、今後の議員活動をする上では、住民の声をよく聞いて負託に応えるために頑張らねばと強い気持ちを持ちました。

国会では、安全保障関係の法案が審議され、国民を巻き込んだ論争が行われています。私たちも戦後七十年を迎えた節目の年に日本の防衛、平和について真剣に考える事が必要ではないかと思っています。